

社
SHA

楽
RAKU

神奈川県立川崎図書館 が所蔵する
全国有数の〈社史コレクション〉を
さらに活用していただくため、
社史の使い方や、社史の楽しさ、
社史情報などをお届けしていきます。

Vol.13

2013/02

県立川崎図書館の社史類、約1万6千冊は「全国屈指」「国内有数」のコレクションなどと説明していますが、「日本一」とは書いていません。それは龍谷大学図書館の長尾文庫が、約1万7千冊を所蔵しているからです。どこまでを社史に含めているかは異なるので、厳密な冊数の比較は困難ですが、社史番付があつたら両館が東西の横綱であるのは間違いなさそうです。（社史としての冊数を出していない国会図書館は別格です）。

今回は関西に所用があつたので、長尾文庫も見学させていただきました。「社楽」初の遠征取材です。



▲落ち着いた雰囲気のカンパス&図書館でした。

西の横綱、龍谷大学・長尾文庫へ！

京阪電車・深草駅からほど近い龍谷大学深草キャンパス（京都市伏見区）の図書館を訪ね、担当の諏訪さんに案内していただきました。長尾文庫は、大阪で大長水産を経営する長尾隆次氏が、1950年以降に個人でコレクションした社史など約七千五百点を、1983年に龍谷大学がまとめて購入したことに始まります。それ以降も、龍谷大学で社史の収集を継続し、現在に至っています。

長尾文庫は書庫の中にあります。集密書庫に並んでいる社史の第一印象は「きれい！」です。川崎図書館の社史は公開し、貸出もしているので、利用とともに多少は傷んでいきますが、長尾文庫は閉架で、閲覧は館内のみ。おまけに、ほぼ全ての社史に外函が付いています。

（裏面へ）

(表面から続く)

長尾文庫はどんな利用をされているかを伺ったところ、学内外の研究者、経済などを学ぶ学生、会社や業界の歴史を調べている一般の方の利用が目につくとのことでした。

ざっと書架を見た個人的感想は「ほとんど川崎図書館で所蔵している」でしたが、業種によって充実の度合いが若干違うように思えました。詳しく調べてはいませんが、例えば商業などは長尾文庫の方が多く、製造業などは川崎図書館の方が多いような印象です。関東の企業は川崎図書館、関西の企業は龍谷大学が多いような気がします。川崎図書館の入手は寄贈が主ですが、長尾文庫は古書店から入手したものも多く、社外に出回らなかつた「未定稿別府化学社史」や「稿本・三井物産株式会社百年史」といった資料、川崎図書館では収集していない古いポスターや宣伝ビラなども含まれているのも特色です。

長尾文庫は学術・研究目的に限り資料の閲覧が可能です。ただし公共図書館の紹介状が必要です。神奈川県内の方であれば川崎図書館でも紹介状を発行できます。利用の詳細などは、龍谷大学図書館のホームページ等で確認してください。



▲業種別に整然と社史が集密書架に並んでいました。

京都まで行くのは大変かもしれませんが、龍谷大学にしか無い社史もあるし、なるべくきれいな状態の社史を閲覧したいなどの際には足を運んでもいいように思えます。業種別に一覧できる「長尾文庫Web目録」も公開されています。

なお川崎図書館と同様に、龍谷大学図書館でも社史の寄贈は大歓迎だそうです。社史作成の際は、ぜひご寄贈を。

(科学情報課・高田)

【絶賛 募集中！ 社史ができるまで講演会 ⑤】

『東京書籍百年史』ができるまで 3月13日(水) 14:30から16:00

「社史の編纂は、大げさに言えば事業の継承そのものと同じ性格を有しているかのようにも思えます。編纂に当たって、私たちは何を議論し、何を目指し、何を遺したのか。改めて振り返る機会とさせていただきます。」と講師の渡辺能理夫氏(東京書籍株式会社 常務取締役 編集局次長)。社史や企業史に関心のある方はもちろん、教育や教科書、出版業界に興味がある方など、ぜひ、お申し込みください。詳細は当館ホームページなどで。

●お問い合わせ先 神奈川県立川崎図書館 科学情報課

210-0011 川崎市川崎区富士見2-1-4

電話：044-233-4537 FAX：044-210-1146

<https://www.klnet.pref.kanagawa.jp/kawasaki/index.html>